

第67回滋賀県人権教育研究大会（米原大会）分科会報告一覧

所属長様
関係の皆様

虫の音美しいころ、皆様には、人権教育の推進にご尽力をいただき心から敬意を表します。さて、第67回滋賀県人権教育研究大会2日目（11月4日（土））分科会の報告題名等をお知らせします。

2023年 9月

滋賀県教育委員会教育長
(公社) 滋賀県人権教育研究会会長
米原大会現地実行委員会委員長

福永 忠克
村井 孝一郎
馬淵 均

| 分科会 | 分科会 | 報告者 | 所属 | 報告題名 | 会場 | |
|-------|---|-----|-----------------|------------------------------------|---|-------------------|
| 1 | 進路保障 (校園所・企業・地域等の役割) | A | 遠藤 誠 | 豊郷町隣保館 若い世代のための人権学び塾 | 「先生になるって、ありかな？」 ～学校に行かないを選択した私が教師をめざす、これってあり？～ | 米原 中 学 校 |
| | | | 馬野 美岐 | 湖南市立水戸小学校 | 「先生、質問あるなあ。」～Aさんが学習に前向きになるまで～ 外国籍児童への学習支援 | |
| | | | 宮澤 博 | 滋賀人権啓発企業連絡会湖北ブロック | 「シン・フソプロジェクトによるエンゲージメント向上活動」 | |
| | | B | 東野 千晶 | 多賀町立多賀小学校 | Aを通して気づいた、自分に足りないこと | |
| | | | 足立 信子 | 栗東市立栗東西中学校 | ことばとまなびの教室（通級指導教室）で「自分のことを語り、理解する」 ～これまでの自分 これからの自分～ | |
| | | | 森川 恭兵 | 滋賀人権啓発企業連絡会甲賀ブロック | 従業員が働きやすい環境を目指して | |
| | | C | 貫井 裕介 | 湖南市立下田こども園 | 子育ての悩みに寄りそった保育の実現に向けて | |
| | | | 柴田 麻衣 | 彦根市立南中学校 | つながり続けること | |
| | | | 田中 優希 辻 真志 | 近江八幡市立北里小学校 | Aさんの保護者と本音で語り合うことで広がった AさんとBさんの未来 | |
| 2 | 人権尊重の まちづくり | A | 木谷 勇治 田邊 九二彦 | 廣瀬同和研究会 NPO法人湖北じんけんネットワーク | なんで差別が見えんのか ～人権とまちづくりに取り組む廣瀬自治会の今～ | 米原 中 学 校 |
| | | | 浦 幹夫 | 笠縫学区人権推進協議会 | 「同和問題は過去の問題ではない・・・」 ～取組を通して、私自身が学びなおしたこと～ | |
| | | B | 中村 由美 | 栗東市立大宝西幼稚園 | 部落差別問題との向き合いから気づいたこと | |
| | | | 吉田 孝志 | 虎姫コミュニティセンター | 教育集会所の取組 ～虎姫学区の子どもたちのかかわりについて～ | |
| | | | 田中 美由紀 | 野洲市市民交流センター | 市民交流センターの役割について | |
| | | A | 田中 陽和 | 近江八幡市教育委員会生涯学習課 | 桐原東学区における寺子屋プラス（放課後子ども教室）の 取り組みについて | |
| 中西 茂行 | 社会福祉法人 杉の子会 | | 地域に根付いた障害者施設 | | | |
| 北居 理恵 | NPO法人Take-Liaison | | だれもが孤独にならないために | | | |
| 3 | 人権問題に関する 学習・啓発 (家庭・職場・地域・社会教育関係 団体・校園所等での実践) | A | 安原 翼 | 滋賀県青年団体連合会 | 関わり合いの中でこそ人権意識が磨かれる | 米原 小 学 校 |
| | | | 岡本 健 | 長浜市立長浜小学校PTA | 「正しいつながりを知る」ことを目的とした学び事業の継続 | |
| | | | 岩崎 崇 | 滋賀県立栗東高等学校 | 人権学習「共生社会を目指して」 ～パラ水泳金メダリスト 木村敬一選手から学んだこと～ | |
| | | B | 西田 聡 | 栗東市立大宝小学校PTA | 「笑顔いっぱい！元気無限大！大宝小」 | |
| | | | 柴田 優子 逆瀬川 美穂 | 米原市立かなん認定こども園 | 保護者と園が共に取り組むPTA活動 | |
| | | | 河村 加恵 | 近江八幡市子ども会育成者連合会 | 「2022年 市子連みんなで作る音楽祭」事業の取り組みから | |
| | | | 後藤 隆幸 | 豊郷町教育委員会事務局 社会教育課・保健体育課 | 豊郷町人権推進協議会の取り組み | |
| | | C | 田中 佐知子 速形 俊久 | 滋賀県立国際情報高等学校PTA | 生徒の命を守る PTA活動の試み | |
| | | | 大浜 辰夫 | オムロン株式会社草津事業所 | オムロン(株)草津事業所における人権啓発の取組 | |
| | | | 殿城 幸雄 | 大津市家庭教育支援チーム 「逢坂Smile家庭教育支援チーム」 | 「〇〇ひろば」を開いて、生きづらさを抱えた人たちへの支援 | |
| 4 | 人権確立を めざす保育・教育の 創造 | A | 稲垣 祐汰 | 日野町立日野中学校 | 優しい場所、あたたかい場所になりたい | 米原 小 学 校 |
| | | | 沢田 匠 | 近江八幡市立八幡小学校 | 自閉傾向の児童と共に生きる ～閉じると開く未来～ | |
| | | | 川添 通江 | 長浜市立びわ北小学校 | 互いに尊重し合える学級の仲間づくり | |
| | | B | 中上 紗希 | 高島市立高島小学校 | ネパールの子どもたちと友だちになろう ～人権×SDGs～ | |
| | | | 小野 文彰 | 彦根市立稲枝中学校 | 学校でのLGBTQI+に配慮した取り組み | |
| | | | 中村 達哉 | 大津市立北大路中学校 | 大津市立北大路中学校の取り組み | |
| | | C | 富永 浩暉 | 彦根市立平田小学校 | 支援学級児童とのかかわりを通して学んだこと | |
| | | | 原 優希 | 甲賀市立甲南中部小学校 | 副籍による交流事業の実践から | |
| | | | 八幡 麻利子 鶴飼 真梨 | 滋賀県立草津養護学校PTA | 「PTA担当の選出と役割について」 ～組織の簡素化に向けた取組事例を通して～ | |

注 * 本表の分科会・分科会のレポートの記載順は発表順ではありませんのでご注意ください。発表順は10月10日の事前打ち合わせ会で決定される予定です。
* 県大会に関わるご質問やお気づきの点がありましたら県大会事務局（TEL 077-525-5096 滋人教事務局内）までご連絡ください。
* 8月25日現在の一覧ですので、報告題名が変更になる場合があります。

| No | 分科会 | 分科会 | 報告者 | 所属 | 報告題名 | 会場 | |
|-------|------------------|--|--|-----------------|---|--|----------|
| 4 | 人権確立をめざす保育・教育の創造 | ②保育・授業の創造 (人権確立に向けた保育・教育内容、地域・生活に根ざした保育・授業、校園所の連携) | A | 辻 彩 | 近江八幡市立金田小学校 | 人権とわたし | 米原小学校 |
| | | | | 吉田 美結 木瀬 静奈 | 野洲市立ゆきはたこども園 | 一人ひとりが友だちを認め合える仲間づくり ～わたしってええやん！友だちってええやん！と感じられる子どもを目指して～ | |
| | | | | 的場 雅美 | 大津市立瀬田南小学校 | 一人称を使わない自分語り ～Aさんと歩んだ1年～ | |
| | | | B | 森 翔馬 | 東近江市立愛東北小学校 | 児童とその保護者の心に寄り添う手立てについて | |
| | | | | 北村 恵理佳 | 草津市立第四保育所 | 「やめて」から「もしかしたら…」の変換 ～とめる、正す、だけではない気持ちのくみ取り～ | |
| | | | | 長田 真季 | 米原市立河南中学校 | 平和学習についての取り組み | |
| | | | C | 五十川 敬子 | 守山市立速野幼稚園 | 「やってみよう」の気持ちをもって意欲的になって遊ぶ子どもをめざして | |
| | | | | 浦井 沙也香 | 豊郷町立豊郷小学校 | 「さそわれたし 明日から行くわ」 | |
| | | | | 福井 里江子 上原 令子 | 甲賀市立貴生川小学校 | 地域と共にある学級づくり | |
| | | | D | 花本 淳子 馬場 育代 | 彦根市立稲枝東小学校 | 支援学級児童の語彙の高まりをめざして | |
| | | | | 堀川 真吾 | 守山市立浮気保育園 | 私はAさんと笑って過ごしているだろうか？ | |
| | | | | 西村 綾 | 野洲市立野洲小学校 | 「一言芳思」～声かけで生まれる居場所～ | |
| | | | E | 竹内 萌 | 長浜市立あざい認定こども園 | 一人ひとりが尊重される保育のあり方 | |
| | | | | 黄地 文 | 守山市立立入が丘小学校 | どの子どもも安心して学ぶことのできる学習環境～人は鏡～ | |
| | | | | 毘盧谷 侑 | 米原市立大原小学校 | 小学生を対象とした自己肯定感を高める道徳授業の開発 ～心理教育プログラムTOPSELFをベースに～ | |
| | | ③子どもの人権・仲間づくり (いじめ・問題行動・不登校・子ども虐待等にかかわる取り組み、こころとからだ、仲間づくり、家庭・地域・校園所・関係機関の取組と連携) | A | 小幡 皐 | 栗東市立葉山東小学校 | 互いに認め合い、居心地の良いと思える学級づくりを目指した学級実践 | 米原市役所本庁舎 |
| | | | | 大塚 将太 | 近江八幡市立八幡西中学校 | だってこいつらやったら差別せえへんやん | |
| | | | | 木村 大佑 | 守山市立守山北中学校 | 誰もが輝ける学級づくり ～Aさんとのかわりからみてきたもの～ | |
| | | | B | 小林 真希 | 東近江市立能登川南小学校 | 「ぼくは、ぼく」 | |
| | | | | 林 寛希 | 草津市立老上西小学校 | 「ちょっと描いてみる」 ～Aさんから学んだこと～ | |
| | | | | 齋藤 千穂 | 甲賀市立土山中学校 | 養護教諭としてできることはなんだろう ～精神的な不安を抱えるAさんとの関わりを通して～ | |
| | | | C | 土永 善宏 | 滋賀県立新旭養護学校 | 新旭養護学校の取り組みについて ～ことばの気づき、深め合う友だちどうしのつながり～ | |
| | | | | 舟戸 千沙 | 東近江市立玉緒小学校 | 心のつながりを結ぶために ～隠れた不安から見えてきたもの～ | |
| | | | | 松浦 新右 | 竜王町立竜王中学校 | 個に寄り添った指導と個性を活かした学級経営 ～生徒Aとの関わりを通して～ | |
| | | | D | 杉原 粧子 | 高島市立安曇小学校 | みんなが安心して通える学校を目指して | |
| | | | | 馬本 開智 | 近江八幡市立桐原小学校 | 出会いや体験を大切にしたい人権教育 | |
| | | | | 小林 真衣 | 栗東市立治田小学校 | 一人ひとりが自分の良さに気づく ～ハッピーレターを通して子どもの自尊感情を高める～ | |
| | | | E | 梶原 由貴 | 湖南市立三雲小学校 | リストカットを繰り返すAさんへの組織対応 | |
| | | | | 棚橋 良介 | 野洲市立祇王小学校 | 笑顔をふやす「こころ」と「からだ」へのアプローチ ～他者との「かわり」の視点から～ | |
| | | | | 吉井 大貴 | 彦根市立佐和山小学校 | 「どうせお前は俺のことなんかどうでもいいんやろ…」 ～Aさんから学び、気づかされたこと～ | |
| 特別分科会 | 特別分科会 | F | 松井 敦寛 | 湖南市立甲西中学校 | 「先生、この学級でよかった！！」 ～Aさんとの関わりを通して～ | 米原中学校 | |
| | | | 植村 遼太 | 野洲市立中主小学校 | 「もっと知りたい」がつながりをつくる | | |
| | | | 中島 佑治 | 愛荘町立秦荘中学校 | 卒業まで3ヶ月だけの担任 ～Aさんとの限られた日々の中で～ | | |
| | | G | 曾我 洸太郎 | 滋賀県立守山養護学校 | 長期入院を繰り返す中学生の思いによりそって | | |
| | | | 粕淵 公子 | 長浜市立伊香具小学校 | よりよい人間関係を築くために ～自尊感情を高める学級集団づくり～ | | |
| | | | 塚田 理華子 | 甲賀市立甲南第一小学校 | つながる ～誰もが安心してすごせる学級をめざして～ | | |
| | | H | 足立 明日華 | 甲良町立甲良中学校 | 個に応じた進路選択に向けて | | |
| | | | 赤田 泰子 | 滋賀県立愛知高等養護学校 | ゆるやかにつながり続ける | | |
| | | | 古川 真也 | 大津市立日吉台小学校 | 「お腹痛い」「やめようと思っても、やめられへんねん」 ～声にならない思いを引き出し、受け止める～ | | |
| | | | テーマ「子どもが創る、探す、選ぶ居場所 ～おとなの役割を問う～」 午前 パネルディスカッション ◇パネラー ・田中 一将さん(湖南市菩提寺学童保育所みちくさクラブ代表主任支援員) ・伊藤 恵さん(呉竹子どもを守り育てる会「竹友」会長) ・西村 静恵さん(ひとつぶてんとう園代表) ・大西 理津子さん(野洲市立中主中学校教諭) ◇コーディネーター 大谷 和雄さん(野洲学区人権啓発推進協議会長・元教員) 午後 講演 「子どもの意見表明の無理 ～私たちの現在地～」 桜井 智恵子さん(関西学院大学) | 米原学びあいステーション | | | |